

消防団北方面隊は林野火災を想定した訓練を実施します

林野火災は、対応が遅れると貴重な森林資源が大量に焼失するばかりでなく、家屋等に被害が及ぶ恐れがあるとともに、市町村境や隣接都県境を越えて拡大することもあります。また、林野火災が発生した周辺には、消火栓や防火水槽などの消防水利が1基もないという状況が考えられることから、河川や湖等の水を有効に活用し、その水利から遠く離れた出火場所まで複数の消防ポンプを中継し、消火活動を行うための十分な水量を確保する必要があります。

このようなことから、消防団北方面隊（方面隊長 中里稔）では、大規模な林野火災の発生を想定し、約100名の消防団員が消防ポンプ15台、消防用ホース約100本などを活用した遠距離中継送水訓練を実施します。

1 実施日時

平成28年9月25日（日）午前10時から正午ごろまで
（荒天等の場合、中止になる場合があります。）

2 実施場所

城山湖本沢調整池及びその周辺（緑区川尻）【案内図参照】

3 実施機関

消防団北方面隊（方面隊本部、各分団本部及び各部 約100名）
（訓練支援：相模原市北消防署）

4 訓練内容

林野火災が発生したという想定に基づき、消防団北方面隊の各分団・部の連携のもと、城山湖本沢調整池から取水し、消防用ホース総延長約1.5キロメートルの遠距離中継送水を実施します。

5 その他

消防団は、その地域に「住んでいる」「働いている」人によって構成される市町村の消防機関です。一人ひとりがそれぞれの仕事をもちながら、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という「心」で消火活動や救助活動だけでなく、災害を起こさないための火災予防や防災啓発など、様々な活動を行っています。

【お問い合わせ】

北消防署警備課

高萩・平井・加藤

電話 042-774-0119

案内図

